



高水地協ニュース

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 小林 君男

○ 編集責任者 和平 幸三

連合長野高水地協第2回定期総会

連合長野運動方針のもと地域に根差した諸活動を推進しよう



招集挨拶する小林議長

11月23日(土)、中野市「アップルシティなかの」において加盟 38 単組・83 人(委任状含む)の代議員が出席し、来賓には中山連合長野会長、須坂市産業振興部長の吉田様、長野県北信労政事務所の佐藤様、小林県議会議員、高木中野市議会議員、宮坂須坂市議会議員、労働金庫須坂・中野両支店長、全労済北部支所長を迎える中、連合長野高水地域協議会第2回定期総会が開催されました。

冒頭小林議長から、「昨年に引き続き、勤労感謝の祝日という意義ある日に私たちの定期総会を開催することができた。連合長野の運動方針である“働く皆のために社会の不条理に立ち向かう”ことを中心とした高水地協の活動方針を採択し 2014 年度の運動をスタートしたい。私たちの諸先輩は単産の枠を超えた団結力を培って地域の幾多の困難と闘い、地域労働者すべての幸福追求に汗と涙を流してきたし、まさに今連合長野がめざそうとしている“地域に根差した顔の見える労働運動の展開”を実践しながら、その財産と伝統を残してくれていたはずである。しかし、それぞれの単組は団結権・団体交渉権など憲法で保障されている権利があるにもかかわらず、組合員を代表する立場で“当たり前”の運動の入口すら実践しているのか”に疑問を持たざるを得ない。このような労働組合の真意が問われる中、働く者の雇用は一向に改善せず、非正規労働者や年収 200 万円以下の低所得者が右肩上がり増大するなど、多くの若者が不安定雇用を強いら

総会議長の高橋(ニッソー労組)・近藤(中電労組)両代議員

れ、将来不安に晒されている。また、強大な権力を握った政府与党は、更に働く者を犠牲にする労働者保護ルールの改悪、社会保障の切り捨てなど“さらなる弱いものいじめ”の強権政治を推し進めようとしている。このような政治情勢を招いたことは“社会の不条理と対決する”とのスローガンを掲げる組織労働者に多くの責任がある。私たちは“ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者の連帯で、安心社会を切り拓こう”を合言葉に、地域に労働運動の網の目を張り巡らし、働く者の代表として果敢に困難に立ち向かい、ここに住む人たちの先頭に立って全ての家庭に笑顔が輝く運動を進めていこうではないか”と力強く挨拶されました。

ご来賓挨拶ならびにご紹介のあと、小林事務局長から 2013 年度の経過報告と会計報告を行い、代議員からは会計項目に関する質問が出されましたが、幹事会側の説明により了承を得ました。続く 2014 年度の運動方針(案)および予算(案)については荒井事務局次長より提案し、代議員からの運動方針(案)に対する補強意見を受けつつ、両議案ともに満場一致で採択されました。第3号議案の 2014 年度役員の選出については役員推薦委員長より、「今総会は改選期ではない」と前置きしつつ、「北信地連側が改選期に当たり、そこに該当する役員が大幅に入れ替わるため、幹事会の決定により本委員会が設置された。いずれにしても、北信地連側で新役員が決定したので、その者の氏名と高水地協での役職の発

表をもって提案としたい」と述べられ、「地協と地連の役員改選期が異なれば、毎年の総会に上程することが必要となるので、早い時期に改選期の統一を構成組織に示してほしい」旨を申し添えられました。なお、本議案は選挙管理委員長の手続き説明と総会議長の決裁により、万雷の拍手にて承認されました。続く「その他」では、幹事会側から退任者の表彰について上程され、今期で退任される津金辰男副議長（在籍

5年／鈴木芳組）の表彰を承認し、壇上にて表彰状と慰労金が贈呈されました。

最後に、小林議長の発声により全員で団結ガンバロウを三唱して定期総会を閉会しました。



退任挨拶する津金さん

2014 年度役員名簿

役 職 名	氏 名	地連	産 別／出 身 単 組
議 長	小林 君男	須高	私鉄／長野電鉄
議長代行	山口 正巳	北信	電機／しなの富士通
副 議 長	徳武 秀明	須高	電機／太陽誘電モバイルテクノロジー
副 議 長	岩本 淳一	須高	電機／鈴木
副 議 長	丸山 克幸	北信	農団／北信州みゆき
副 議 長	外谷香代子	北信	自治／北信広域
事務局長	小林 東一	北信	自治／飯山市職員
事務局次長	荒井 裕清	須高	自治／須坂市職員
事務局次長	和平 幸三	—	連合長野派遣（専従）
幹 事	増村 穰亮	須高	自治／須坂市職員
幹 事	勝山 祥典	須高	自治／須坂市社協職員
幹 事	三澤 貴美	須高	自治／須坂病院
幹 事	土屋 則彦	須高	電機／ニッター
幹 事	鎌崎 学	須高	電機／鈴木
幹 事	下野 剛	須高	電機／太陽誘電モバイルテクノロジー
幹 事	塩野 裕一	須高	農団／須高

役 職 名	氏 名	地連	産 別／出 身 単 組
幹 事	豊田 一成	須高	私鉄／長野電鉄
幹 事	小山 武志	須高	フード／明治産業
幹 事	亀岡 俊範	須高	県教／上高井
幹 事	原山 貴巳	北信	UA／全コシナ
幹 事	篠田 富雄	北信	自治／長野県職員北信
幹 事	池田 義博	北信	自治／中野市職員
幹 事	梅崎 伸一	北信	自治／木島平村職員
幹 事	小林 資弘	北信	電力／中部電力飯山
幹 事	中村 敦	北信	電機／新光電気高丘
幹 事	池田 文武	北信	電機／富士電機パワーセミコンダクタ飯山
幹 事	大口 猛	北信	JP／北信
幹 事	若林 宗男	北信	農団／中野市
会計監査	芋川 弘文	須高	電機／日通エレクトロニクス
会計監査	上田 綾	北信	労金／中野
会計監査	西村 正弘	北信	林野／北信

2013 年度の活動を振り返って(一部紹介)

1. 列島グリーンキャンペーンを地連で同日開催

本年度の列島グリーンキャンペーンは、須高・北信両地連において構成組織の組合員が参加する中、地域内の清掃活動を同日実施しました。

実施日：2013年7月3日（土）

<須高地区連合会>

須坂市では、前日に「第26回須坂みんなの花火大会」が開催されたことから、打ち上げ現場の臥竜公園百々川緑地周辺の清掃活動を実施しました。

時 間：午前6時30分より約1時間

参加者：構成組織の組合員55名（地連役員含む）



作業手順の指示を受けて清掃活動を開始



沢を駆け上がって草刈りを始めたが……

<北信地区連合会>

震災復興ボランティア活動と位置づけ、栄村の“トマトの国”と称する施設の周辺や山林の草刈作業を行いました。参加者には「2時間程度の作業」としてお願いしていましたが、作業開始間もなく雷と豪雨に見舞われ、しばらく様子を見たものの止む気配がなかったことから、残念ながら1時間ほどで作業を打ち切りました。参加いただいた皆さん大変ご苦労様でした。

時 間：午前10時より1時間程度で打ち切り

参加者：構成組織の組合員56名（地連役員含む）

2. 地区連携議員懇談会の開催

8月20日(火)に地区で連携する小林東一郎県議会議員、宮坂須坂市議会議員、岩田同市議会議員、高山飯山市議会議員と地協役員14名で、地協発足初めての「地区連携議員懇談会」を開催しました。

冒頭、小林議長から「いま国会は自民党の復権で、憲法の改悪をはじめ勤労者や生活者視点の政策制度が崩されようとしている。私たち連合は、産別組合員および未組織労働者へ“政府による憲法ならびに政策制度の改悪断固反対”を強くアピールしながら、広く国民運動へと展開していかなければならない。同時に、地域で連携する議員を通

じて、それぞれの議会運営の状況や議員の活動を知ることでも大事であり、定期的な意見交換の場を持って各自治体への政策制度要求に繋げていきたい」と述べられ、それぞれの議員より議会報告を受けました。

懇談会では、連携議員を通じた労働者視点での政策制度改善に向けた行政反映の仕組みづくりなどをテーマとして活発な意見交換を行い、その後の懇親会を含めて、「今後も定期的な議員懇談会の継続実施し、議員・役員相互に課題を共有しながら、勤労者の生活の安心・安定のために前進しよう」との意志確認を行って閉会しました。

3. 満蒙開拓平和記念館の見学ツアーの開催

地協活動の平和学習会のイベントとして、構成組織組合員の参加を募り、9月14日に阿智村駒場にこの春オープンした満蒙開拓平和記念館を見学してきました。

このツアーは、①長野県内にこの春オープンしたこと、②両親や祖父母から「当時は国策のもと、若者が夢を持って満州国に渡り、異国の地で大変な苦労を強いられた挙句、悲惨な状況で多くの尊い人命が失われた」等を聞いたこと、③こうした満蒙開拓の歴史を研鑽し、あらためて平和の有り難さを心に受け止め、そしてその思いを後世に繋げていくことを目的として、37名の参加者が集いました。

記念館を見学する中で、「長野県は満蒙開拓団と青少年義勇軍を合わせて約4万人を送り出し、全国でも突出していた」という事実を、参加者それぞれの脳裏に深く刻み込

んだと思いますし、帰りの車内では参加者全員の方々から感想を述べてもらい、非常に有意義な取り組みとなりました。

地協イベントとして、今年度も満蒙開拓平和記念館見学ツアーを開催する予定ですので、多くの皆様のご参加をお願い致します。



記念館の前で参加者の集合写真

4. 須坂市長と労働団体との懇談会を開催

須高地区連合会では、例年開催している須坂市との意見交換の場として「市長と労働団体との懇談会」を10月31日(木)に、須坂市勤労者研修センターにおいて開催し、須坂市側からは三木市長、渡辺教育長はじめ、部長級職員7名と課長・係長3名の総勢12名、労働団体側からは須高地連はじめ5団体・2単組より20名、宮坂・岩田両市議会議員が出席しました。



挨拶する小林議長と労働団体・単組側メンバー



挨拶する三木市長と市側幹部職員

会議は、労働団体・単組から事前に市へ申し出た要望事項に回答する形で進められ、とりわけ市民生活・学校教育・地域に根差した街の活性化施策等に関して質疑応答を行い、市の財政状況や労働団体からの意見・要望を踏まえた事業計画の考え方、優先すべき事業の取り組み、オール市民参加の街づくりなどについての市側の考えが示され、有意義な意見交換の場となりました。

5. 栄村の集落作業支援ボランティアに参加

連合長野（国民運動・環境委員会）が主催する栄村の集落作業支援ボランティアが11月10日（日）と11月24日（日）の両日に分けて実施することになり、地協の幹事会では「北信地連の列島クリーンキャンペーンで、今年は栄村支援活動を既に実施してきたが、地協の担当エリアでもあることから、連合長野の募集とは別に、地協独自の取り組みと位置づけて国民運動・環境委員会に合流し、連合長野の支援ボランティアに参画する」ことを決め、大勢の役員に率先して参加してもらいました。

下の写真は、24日の作業の様子を写したのですが、



作業した小滝地区の住民との集合写真

晩秋の山野は非常に荒れており、特に堰の取水口付近は大量の土砂が堆積し、そこから流れ下る水路も枯葉や枯枝で身動きが取れない場所も多く、しかも午後から降雨に見舞われて雨具着用での作業になるなど、参加者には大変苦労していただくこととなりました。

栄村は、震災復興の真っ最中であり、人口減少や高齢化の一途を辿っている状況です。これは栄村に限らず、どの地域でも同様だと思いますので、このような要請があれば連合長野の地域貢献として関わっていく必要があると感じました。

加盟単組紹介

高水地協ニュースでは、加盟する単組を随時ご紹介していきます。今号では次の単組をご紹介致します。

◇ 富士電機パワーセミコンダクタ労組飯山支部 ◇

私たちは、本年9月に連合長野高水地域協議会へ加盟した『富士電機パワーセミコンダクタ労働組合飯山支部』と申します。

私たちの労働組合は、富士電機(株)松本工場の関連会社であった(株)大町富士、(株)北陸富士、(株)飯山富士の3社が合併し「富士電機パワーセミコンダクタ(株)」として発足したのを期に、これまで労働組合がなかった北陸と飯山を組織化して本部を大町に置き、大町支部・北陸支部・飯山支部の3支部体制で、2011年10月に結成致しました。

現在、私たちの飯山工場では自動車関連の部品に使われている圧力センサやトランジスタ、そして産業用に多く使われる『IGBTモジュール』等の半導体部品を製造しています。

飯山支部の組合員数は現在146名で、組合執行部は委員長に池田・副委員長に村山・書記長に丸山、そして執行委員には小林・杉原・服部・松木の総勢7名が就任して日々の組合活動を行っています。

組合としての経験はまだ日も浅く、ようやく高水地協への加盟を果たしたばかりであり、いまだ手探り状態で組合運営を進めているところであり、とにかく今は組織のレベルアップを目標に、執行部のスキルアップ中心に活動をしています。

今後、早期に組合組織としての基礎を固め、組合員から信頼されるような活動ができるよう努力していく所存でありますので、皆様のご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

（執筆：執行委員長 池田 文武）

編集後記

今年度から、機関紙『高水地協ニュース』を年4回程度発行することになりました。

今号が1回目の発行であり、今回は定期総会の内容と昨年度の一部の行事を掲載しましたが、今後は地協役員による「機関紙編集委員会」を設置して本紙を作成していくことにしています。そのため、構成組織・組合員の皆さんには興味深い

ニュースソースをご提供いただくことになりますので、格段のご協力をお願い致します。

また、『高水地協ニュース』はあくまでも仮称であり、皆さんから本紙の名称をお寄せいただき、幹事会により新たな名称を決めていきたいと思っておりますので、重ねてご協力のほどお願い致します。
（編集事務局）

